

## 2023年3月期 第3四半期決算概要

2023年2月7日

会社名 アニコム損害保険株式会社  
 URL [https://www.anicom-sompo.co.jp/company/financial\\_data/](https://www.anicom-sompo.co.jp/company/financial_data/)  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 野田 真吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大久保 弘二 TEL (03) 5348-3777

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	37,918	7.5	2,628	38.7	1,817	35.8
2022年3月期第3四半期	35,263	9.5	1,895	35.7	1,339	77.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	8,922 76	—
2022年3月期第3四半期	6,572 19	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	46,564	20,066	43.1
2022年3月期	46,359	20,455	44.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 20,066万円 2022年3月期 20,455百万円

### 2. 注記事項

#### (1) 会計方針の変更、会計上の見積りの変更、修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

#### (2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 2023年3月期3Q 203,740株 2022年3月期 203,740株
- ② 期末自己株式数 2023年3月期3Q -株 2022年3月期 -株
- ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 2023年3月期3Q 203,740株 2022年3月期3Q 203,740株

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	22,308	20,040
有価証券	15,531	17,078
貸付金	913	916
有形固定資産	1,886	1,942
無形固定資産	712	674
その他資産	4,223	4,778
繰延税金資産	824	1,175
貸倒引当金	△41	△41
資産の部合計	46,359	46,564
負債の部		
保険契約準備金	21,297	22,247
支払備金	2,705	3,061
責任準備金	18,592	19,185
その他負債	4,304	4,022
賞与引当金	201	112
特別法上の準備金	98	115
価格変動準備金	98	115
負債の部合計	25,903	26,497
純資産の部		
株主資本	20,798	21,597
資本金	6,550	6,550
資本剰余金	3,664	3,664
利益剰余金	10,584	11,383
評価・換算差額等	△342	△1,530
その他有価証券評価差額金	△342	△1,530
純資産の部合計	20,455	20,066
負債及び純資産の部合計	46,359	46,564

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
経常収益	35,892	38,458
保険引受収益	35,263	37,918
(うち正味収入保険料)	35,263	37,918
資産運用収益	562	479
(うち利息及び配当金収入)	246	346
(うち有価証券売却益)	313	130
その他経常収益	66	60
経常費用	33,997	35,830
保険引受費用	25,040	26,593
(うち正味支払保険金)	19,186	20,930
(うち損害調査費)	832	840
(うち諸手数料及び集金費)	3,994	3,873
(うち支払備金繰入額)	247	356
(うち責任準備金繰入額)	779	593
資産運用費用	61	0
営業費及び一般管理費	8,881	9,216
その他経常費用	13	20
(うち支払利息)	0	0
経常利益	1,895	2,628
特別利益	-	-
特別損失	17	49
税引前四半期純利益	1,877	2,579
法人税及び住民税	355	650
法人税等調整額	183	111
法人税等合計	538	761
四半期純利益	1,339	1,817

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があつた場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 2023年3月期 第3四半期損益状況

(単位：百万円)

区分		前第3四半期累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	当第3四半期累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日
経 常 損 益	保 険 引 受 収 益	35,263	37,918
	(うち正味収入保険料)	( 35,263 )	( 37,918 )
	保 険 引 受 費 用	25,040	26,593
	(うち正味支払保険金)	( 19,186 )	( 20,930 )
	(うち損害調査費)	( 832 )	( 840 )
	(うち諸手数料及び集金費)	( 3,994 )	( 3,873 )
	(うち支払備金繰入額)	( 247 )	( 356 )
	(うち責任準備金繰入額)	( 779 )	( 593 )
	資 産 運 用 収 益	562	479
	(うち利息及び配当金収入)	( 246 )	( 346 )
	(うち有価証券売却益)	( 313 )	( 130 )
資 産 運 用 費 用	61	0	
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	8,881	9,216	
そ の 他 経 常 損 益	52	40	
経 常 利 益	1,895	2,628	
特 別 損 益	特 別 利 益	0	0
	特 別 損 失	17	49
	特 別 損 益	△17	△49
税 引 前 四 半 期 純 利 益		1,877	2,579
法 人 税 及 び 住 民 税		355	650
法 人 税 等 調 整 額		183	111
法 人 税 等 合 計		538	761
四 半 期 純 利 益		1,339	1,817
諸 比 率	正 味 損 害 率	56.8	57.4
	正 味 事 業 費 率	36.3	34.3

(2)種目別保険料・保険金

保険引受の実績は以下のとおりであります。

① 元受正味保険料（含む収入積立保険料）

区分	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	35,263	100.0	9.5	37,918	100.0	7.5
合計 (うち収入積立保険料)	35,263 (-)	100.0 (-)	9.5 (-)	37,918 (-)	100.0 (-)	7.5 (-)

(注) 元受正味保険料（含む収入積立保険料）とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。（積立型保険の積立保険料を含む）

② 正味収入保険料

区分	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	35,263	100.0	9.5	37,918	100.0	7.5
合計 (うち収入積立保険料)	35,263 (-)	100.0 (-)	9.5 (-)	37,918 (-)	100.0 (-)	7.5 (-)

③ 正味支払保険金

区分	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	19,186	100.0	10.6	20,930	100.0	9.1
合計	19,186	100.0	10.6	20,930	100.0	9.1

(3) 有価証券関係

①満期保有目的の債券

該当なし

②その他有価証券

	前第3四半期会計期間末 (2021年12月31日)			当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日)		
	四半期貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額(百万円)	四半期貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額(百万円)
株式	33	8	24	14	8	5
その他	14,574	14,478	96	16,315	18,447	△2,131
合計	14,607	14,486	120	16,329	18,456	△2,126

(4) 単体ソルベンシー・マージン比率

「単体ソルベンシー・マージン比率」は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2022年3月31日現在) (百万円)	当第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在) (百万円)
(A) ソルベンシー・マージン総額	21,467	20,482
資本金又は基金等	20,288	21,215
価格変動準備金	98	115
危険準備金	—	—
異常危険準備金	1,522	1,215
一般貸倒引当金	1	1
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△475	△2,126
土地の含み損益	30	60
配当準備金未割当部分	—	—
持込資本金等	—	—
繰延税金資産の不算入額	—	—
税効果相当額	—	—
負債性資本調達手段等、保険料積立金等余剰部分	—	—
控除項目	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R5+R8)^2+(R2+R3)^2\}+R4+R6}$	12,830	13,564
一般保険リスク(R5)	12,447	13,207
第三分野保険の保険リスク(R8)	—	—
予定利率リスク(R2)	—	—
資産運用リスク(R3)	1,596	1,328
巨大災害リスク(R6)	—	—
経営管理リスク(R4)	280	290
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B)\times 1/2\}]\times 100$	334.6%	302.0%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額:上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - ①保険引受上の危険 : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る(一般保険リスク)危険を除く)
  - (第三分野保険の保険リスク)
  - ②予定利率上の危険 : 積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険(予定利率リスク)
  - ③資産運用上の危険 : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等(資産運用リスク)
  - ④経営管理上の危険 : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの(経営管理リスク)
  - ⑤巨大災害に係る危険 : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険(巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。